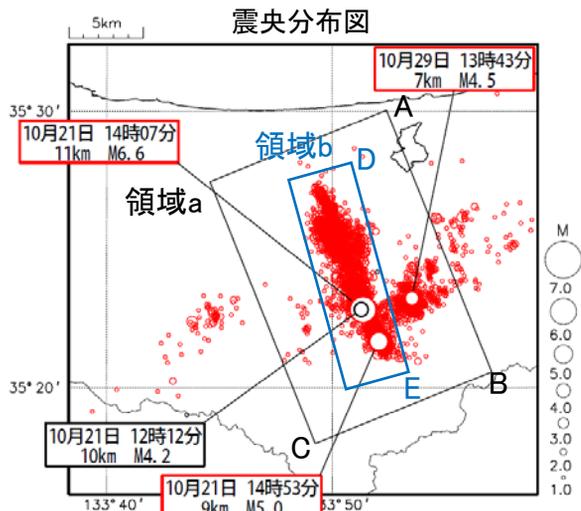
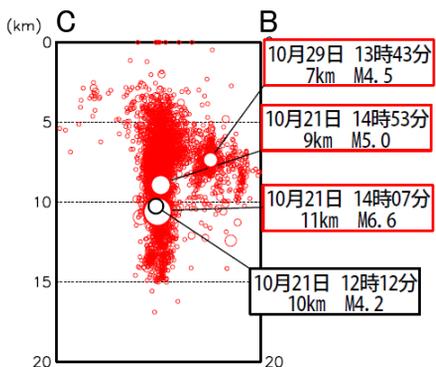


平成28年10月21日 鳥取県中部の地震

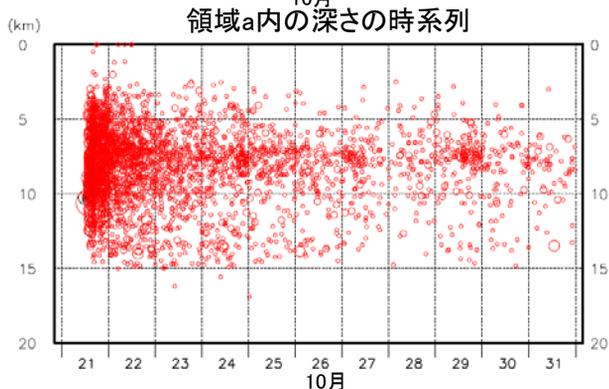
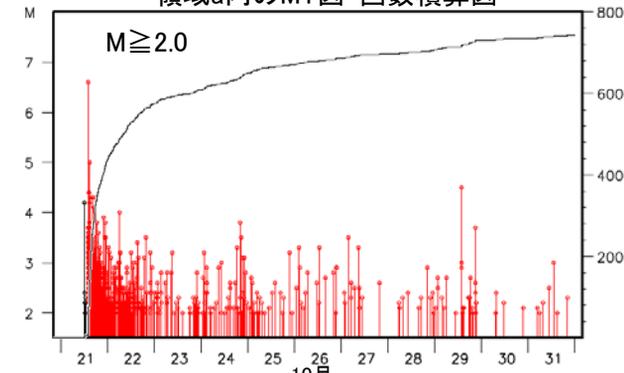
2016年10月21日～10月31日、 $M \geq 1.0$ 、深さ0～20km、10月21日14時以前の地震を黒く表示



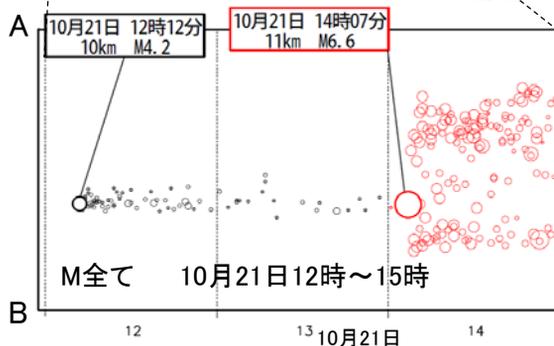
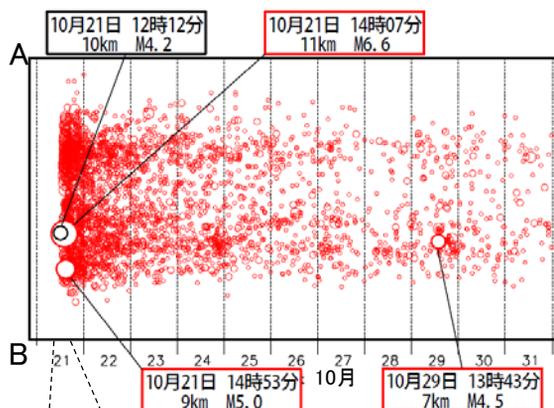
領域a内の断面図(C-B投影)



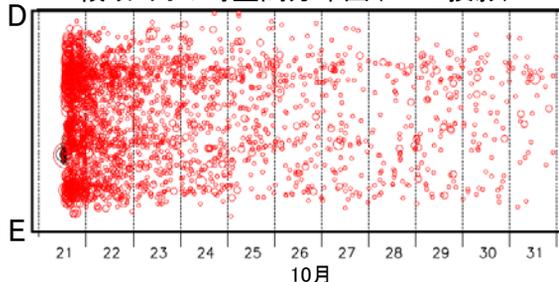
領域a内のMT図・回数積算図



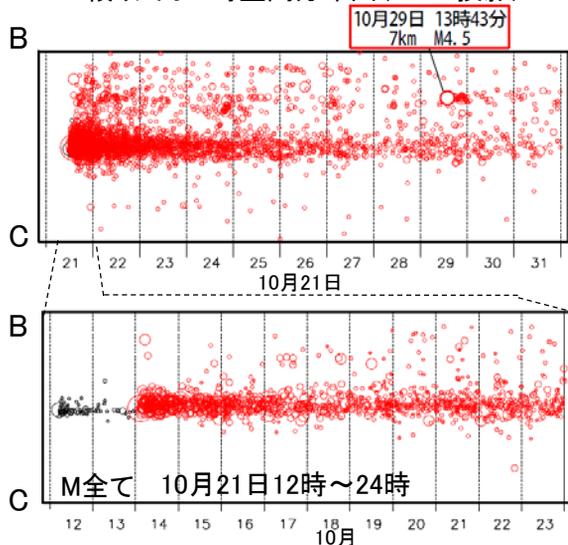
領域a内の時空間分布図(A-B投影)



領域b内の時空間分布図(D-E投影)



領域a内の時空間分布図(B-C投影)



- ・10月21日12時12分にM4.2の地震が発生し、その後同じ場所で微小地震活動が継続した。ほぼ同じ場所で、14時07分にM6.6の地震が発生した。M5.0以上の地震は、21日14時53分の地震だけである。
- ・活動域は、M6.6の地震発生直後から北北西-南南東方向へ広がった。特に北側への広がりが大きい。その後、それ以上広がる様子は見られていない。
- ・北北西-南南東への広がり(主な活動域)の他、主な活動域と共役な走向にも活動域が見られる。共役な走向の活動域で発生した最大規模の地震は10月29日のM4.5の地震である。・共役な走向の活動域は、M6.6の地震発生直後から見られる。

2015年10月以降の地震活動の状況

2015年10月1日～2016年10月31日、深さ0～20km

黒: 2015年10月1日～2015年11月30日

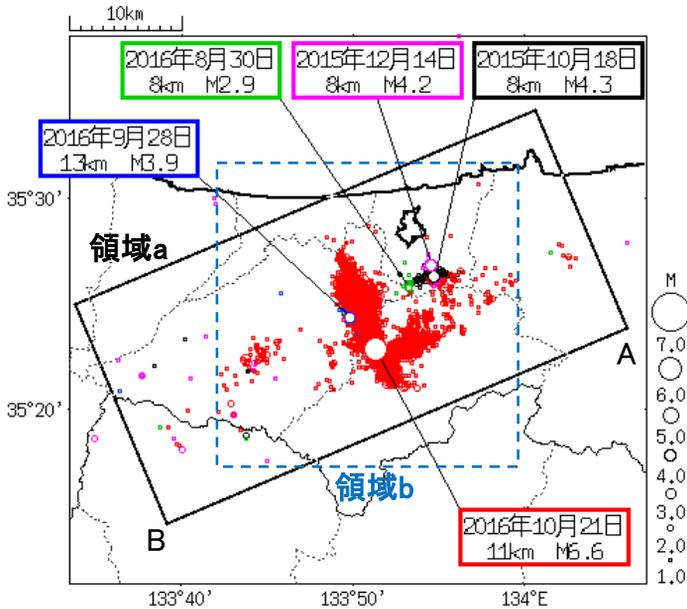
桃: 2015年12月1日～2016年8月19日

緑: 2016年8月20日～2016年9月25日

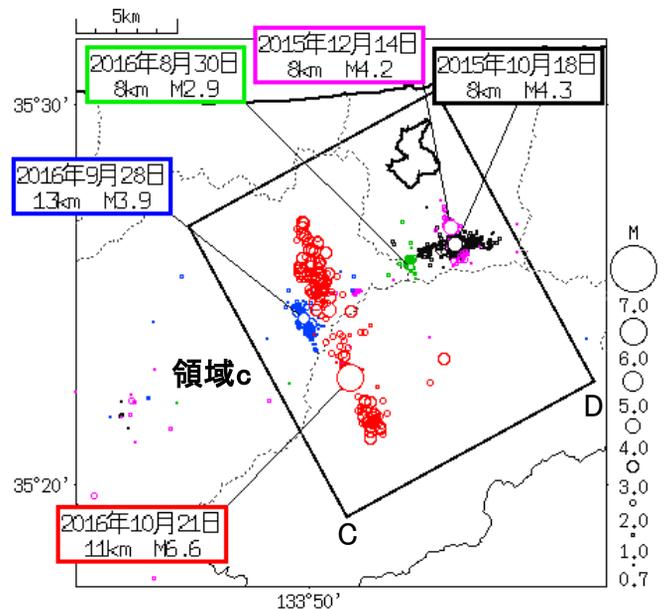
青: 2016年9月26日～2016年10月20日

赤: 2016年10月21日～2016年10月31日

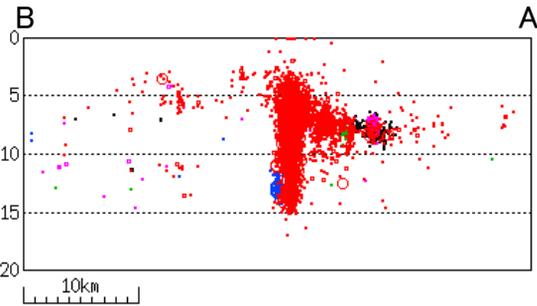
震央分布図(M \geq 1.0)



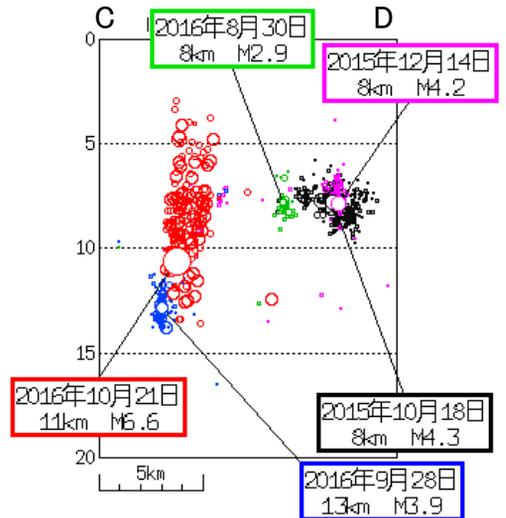
領域b内の震央分布図(M \geq 0.7)
2015年10月1日～2016年10月21日15時



領域a内の断面図(B-A投影)



領域c内の断面図(C-D投影)



※色分けて示した活動域(活動期間)の中で、最大規模の地震に吹き出しを付加している。

・2016年10月21日のM6.6の地震を含む北北西-南南東の走向の活動域(以下、主な活動域)は、2016年9月26日～10月20日頃の活動域(青)のすぐ東側に分布する。深さは、9月26日～10月20日頃の活動域(青)より浅い。

・主な活動域から北東へ伸びる活動域は、北東側へ傾斜しているように見える。北東端での深さは2015年10月から2016年8月にかけての活動域(黒、桃、緑)とほぼ同じである。

※10月31日までの震源を全てプロットすると、今回の活動分布の広がりの影響で、過去の活動分布が見えなくなるため、右側に過去の活動分布がわかるように図を掲載している。

2015年10月以降の地震活動の状況

2015年10月1日～2016年10月31日、深さ0～20km

黒: 2015年10月1日～2015年11月30日

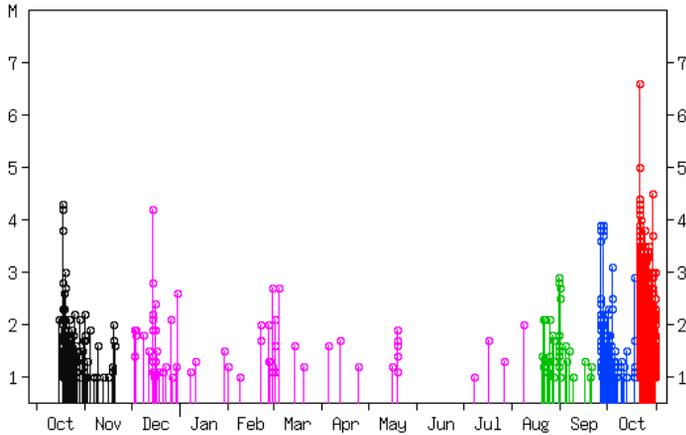
桃: 2015年12月1日～2016年8月19日

緑: 2016年8月20日～2016年9月25日

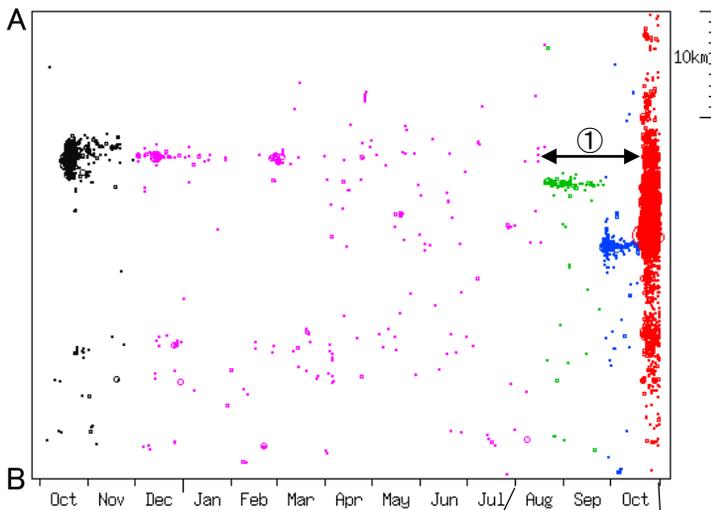
青: 2016年9月26日～2016年10月20日

赤: 2016年10月21日～2016年10月31日

領域a内のMT図(M \geq 1.0)



領域a内の時空間分布図(A-B投影)(M全て)



•2016年8月20日から、それまでの活動域(黒・桃)よりやや西側で活動が見られた。この活動(緑)が始まると、それまでの活動域(黒・桃)での活動は見られなくなった(①)。

•2016年9月26日からは、さらに西側(青)で活動が見られた。この活動(青)が始まると、8月20日から見られていた活動(緑)が見られなくなった(②)。

2016年8月1日～10月31日

